

新型コロナウイルス感染症拡大による社会・経済への影響

R4.2.14 現在

	より加速化した取組	顕在化した課題 新たに生じた課題
気候変動対策や持続可能な社会への意識の高まり	<ul style="list-style-type: none"> ・想定外のリスク(新興感染症のパンデミックなど)、想定内だが放置されていた他のリスク(巨大地震、地球環境問題など)への注目 ・SDGsへの関心の高まり 	
自然災害や感染症などの脅威	<ul style="list-style-type: none"> ・健康意識、衛生意識(マスク着用、手洗い等)の高まり ・感染症対策によるインフルエンザや感染性胃腸炎の減少 ・マスクやワクチンなど医療必需品の国内生産・開発の必要性 ・国における薬事承認の迅速化 ・日常生活に欠かせないエッセンシャルワーカーの社会的地位向上と処遇改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・次の感染症対応を見据えた、平時からの地域における関係者間の連携体制の構築 ・時機に応じた医療資材、感染症対応病床の速やかな確保 ・医療従事者の処遇改善、働き方改革(離職による人手不足の懸念) ・感染症管理認定看護師等、感染症対応を見越した人材の確保、養成 ・受診控え等による医療機関の経営悪化 ・衛生用品の調達や、利用者の減少による介護事業所の経営悪化 ・運動不足や健診の未受診、受診控え等による将来の健康悪化リスク ・外出制限や運動不足等による健康二次被害(健康寿命やフレイルへの懸念、ストレス) ・避難所における3密の回避
新技術・デジタル化の加速	<ul style="list-style-type: none"> ・非接触、非対面技術・サービスの増加 ・新しいコミュニケーションツールの普及と、オンライン会議の利用者の増加 ・リモートワーク、テレワーク、リゾートテレワークなど働き方の多様化(働き方改革) ・行政や企業のDX化に対する社会的ニーズの増加 ・リモートワークなど新たな働き方に必要なオープンデータ化やセキュリティ対策などの基盤整備 ・(外国人労働者などの人材不足に対応する)スマート農業の進展 ・ネットショッピング、動画配信サービス、オンライン決済など、オンラインサービスの利用者の増加 ・スマートフォンアプリの開発促進 ・オンライン上での個人の消費行動などビッグデータを分析・利活用した高度なマーケティングや商品・サービス開発の進展 ・オンライン商談による輸出販路開拓 ・就職活動や婚活、家族・知人間連絡などのオンライン化 ・ペーパーレス化 ・学校におけるデジタルツールの導入、オンライン授業の実施などGIGAスクール構想の加速 ・行政手続きのデジタル化 	<ul style="list-style-type: none"> ・「デジタル後進国日本」の露呈 ・デジタル人材、デジタルインフラの不足 ・行政、医療のデジタル化の遅れ ・DXに対応できない企業への対策 ・高齢者等のデジタルデバイド(情報格差)が拡大 ・デジタル学習の進展にともなう個々の児童・生徒に対する学びの最適化の重要性 ・児童生徒間におけるSNS等でのいじめ

	より加速化した取組	顕在化した課題 新たに生じた課題
社会に存在する 様々な格差	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に存在する様々な格差に対する気付きと問題意識の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルスキルの世代間格差によるデジタルデバイド(情報格差) ・雇用形態(正規・非正規)による所得格差 ・立場の弱い者に対する解雇、雇い止めなどのしわ寄せ ・リモートワークが可能な仕事と出来ない仕事(エッセンシャルワーカー)における労働環境の格差 ・エッセンシャルワーカーへの偏見や差別の顕在化・深刻化 ・経済的な理由によるデジタル環境の差がもたらす教育格差 ・学校におけるデジタル環境、教員のICT活用指導力による教育格差 ・休校でも自分で学べる子どもとそうでない子どもの二極化 ・DV(配偶者等からの暴力)の増加 ・外国人県民に対する行政サービスの格差(支援情報、ワクチン接種など) ・企業規模や業種による生産性や人手不足の格差 ・自粛により観光・飲食・学校等に卸す農畜水産物の需要の減退(事前の生産調整は困難)
海外との関係の 変化	<ul style="list-style-type: none"> ・(物流の停滞による)サプライチェーンの見直し ・海外とのオンライン交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪日外国人旅行者の大幅な減少によるインバウンド市場の縮小 ・国境閉鎖、世界的な需要増による一部製品や原材料の輸入不足(グローバルサプライチェーンの脆弱さの露呈) ・世界的な木材不足(ウッドショック)を契機とした県産木材の安定的供給の期待 ・外国人技能実習生来日延期に伴う人手不足(外国人材に対する過度な依存の問題) ・留学を含む海外との交流機会の減少 ・飲食・宿泊業等における農畜水産物の業務用需要の減少
人口減少・少子 高齢化の進行	<ul style="list-style-type: none"> ・保育施設・学童保育の重要性の再認識 ・観光の高付加価値化(多くの観光客を呼び込む手法から、一人ひとりの消費単価を増やす手法へシフト) ・社会人のリカレント、リスキリングの必要性の増加 ・コロナ禍のなかで、ウェビナー(ウェブセミナー)等の利用により自ら学び続ける者の存在 	<ul style="list-style-type: none"> ・出会いの機会の減少による婚姻数の減 ・医療提供体制への不安による出生数の減 ・婚姻数、出生数の減による少子化の加速
東京一極集中から 地方回帰の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・地方移住、二地域居住への関心の高まり ・オンラインによる関係人口の多様化 ・外出自粛やマイクロツーリズムなどにより、逆に地域に触れる機会が増加 ・地元の価値に気づく動き 	<ul style="list-style-type: none"> ・自粛生活による移住者と地域住民とのコミュニケーションの減少 ・インバウンドをはじめとした観光客の減少や交流人口の減少による地域のにぎわい低下

	より加速化した取組	顕在化した課題 新たに生じた課題
ライフスタイル や価値観の多様化	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の経験を踏まえ、本質的な幸せの追求 ・時間や場所に捉われない働き方の普及 ・非接触・非対面サービスの進展による「新たな仕事」の出現 ・感染症対策のため、公共交通機関から自家用車へのシフトや徒歩、自転車、自動二輪の利用増 ・家庭で楽しめる消費や巣ごもり消費の増大(食事の宅配など) ・アウトドア観光(密を避け楽しむ旅行)・滞在型分散型観光・オンラインツアー等の新たな需要の創出 ・在宅勤務の普及による男性の家事・育児参加など、男女間の役割分担の見直し ・在宅勤務の普及による家族が共に過ごす時間の増加や家族の大切さの再認識 ・子どもの居場所確保など、新たな地域活動の創出 ・「リアル」(体験)がより貴重なものになる ・リアルの学びの大切さの再認識 ・少人数学級の価値の再認識 	<ul style="list-style-type: none"> ・パンデミックにおける対面ビジネス(飲食、観光業など)の脆弱性 ・リモートワークに対する労務管理など「新たな仕事」のルール整備 ・自粛生活、リモートワーク等による運動不足 ・外食や旅行、イベント参加の減少による飲食観光産業、娯楽産業の苦境 ・WEB 会議による出張需要の減少 ・文化、スポーツイベントなどの減少、縮小、開催に対する割れた評価 ・在宅勤務、オンライン授業等による公共交通機関の利用者減少 ・飲食デリバリー、通信販売の利用増による運輸業の人手不足 ・人間関係の希薄化と分断・孤独・孤立の深刻化 ・孤立化による自殺者増の可能性 ・地域イベントや高齢者交流等の中止による地域コミュニティの弱体化 ・祭りやイベントなどの中止による歴史や地域資源の消滅危機 ・子ども食堂、地域の居場所づくりなど、これまでのような“集う”を前提とした支援活動の実施、再開が困難 ・高齢者や障がい者の活動機会の減少(高齢者の通いの場、障がい者スポーツ・芸術関係イベント等) ・人との接触を避けることによる、要配慮者への介助の減、ケアのあり方の問題 ・社会的ストレスによる不寛容、怒りの先鋭化、SNS での誹謗中傷、自粛警察 ・密な地域社会の中での感染者のプライバシー保護 ・マスク、トイレトペーパーの買い占めなどバンドワゴン効果(大勢順応行動) ・実体験を伴う学習機会の保障(運動会、音楽会、修学旅行、部活動、課外活動等) ・臨時休校、学校行事が中止縮小されたことによる非認知能力・生活習慣・学習意欲等への悪影響(心のケア)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・行政と住民との接点増加、自治体行政に対する住民の関心 UP ・国、自治体の役割の拡大 ・小規模自治体のワクチン迅速接種、給付金の迅速支給 	<ul style="list-style-type: none"> ・給付金支援、ワクチン接種対応に伴う自治体業務量の増加と財政支出の増加